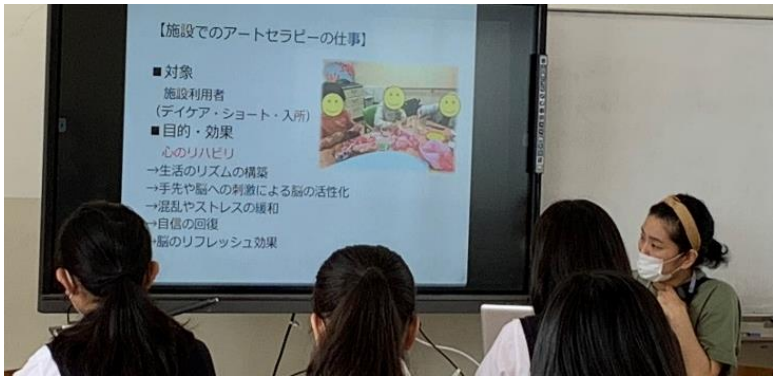
令和３年度　２年福祉保育コースの取り組み②（福祉科）

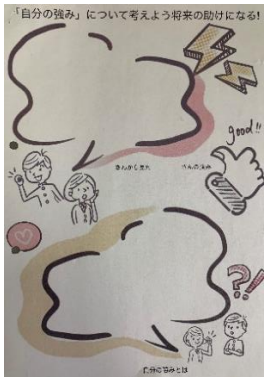
「社会福祉基礎」の授業では、主に子ども、障害分野の現場への理解や保育士、介護福祉士養成校で学ぶ内容や資格取得のルート等を学び、将来の進路選択の参考にすることを目的に、関係機関にご理解、ご協力いただき、たくさんの外部講師の先生方にご指導いただきました。

７月１５日（木）３ｈ

総合自立支援就労事業所１up　生江　教代先生（支援員／アートセラピスト）

※茨城県社会福祉協議会より紹介（ふくし“きらり人”）





生江先生から「芸術療法」を通して心のリハビリも行う専門職として、アートセラピストという職種があること、自分の強みを福祉（仕事）に活かす視点として「自分の持つ知識であるアートが誰かの喜びになる」⇒「仕事を頑張る」⇒「仕事のやりがいに繋がる」という好循環があることを学びました。また、アートワークを企画してくださり、生江先生手作りの素敵なワークシートに記入する活動は、進路の可能性を模索しているなか、自分自身の強みについて考え、自分の強みを周りの人から教えてもらう、大変貴重な機会になりました。

１０月２８日（木）３ｈ

茨城女子短期大学　保育科　梶井　正紀先生

梶井先生は「保育者のイメージ」について、生徒１人ひとりの考えに耳を傾け、寄り添ったコメントをしてくださりました。保育者の本音や今後学習していく、認定こども園と保育園、幼稚園との違いを丁寧に説明してくださりました。保育士になるルートや養成校で学ぶメリットを知ることができました。また、県内で唯一「こども音楽療法士」「准学校心理士」の資格取得ができ、資格取得に力を入れていることや理論と実践の学びを深めることで現場での即戦力となることを学ぶことができました。

１１月４日（木）３ｈ

いばらき中央福祉専門学校　小林　信彦先生（コネクター／介護福祉士科教員／介護福祉士）

小林先生は、３年生に引き続き、再び来校してくださり、ご指導いただきました。「介護のリアル」について、生徒１人ひとりの考えに耳を傾け、丁寧に説明してくださりました。介護は学び続けることが大事であること、小林先生のご経験から「人との出会い」や人生の大先輩の方々に「人生に関わらせていただきありがとうございます」という感謝の気持ちを大事に仕事されているということを学びました。さらに、「皆さんが皆さんの人生を楽しむこと」という温かいメッセージもいただきました。

１１月１１日（木）３ｈ

はすみ保育園　園長 木村　有里先生

※インターンシップ中止のため、現場を知る機会としてご理解、ご協力いただきました

木村先生は「インターンシップで体験する」という視点で、講座を組み立ててくださりました。職員さんが撮影、編集してくださった動画は、園児の目線で見ることができ、園児の様子や園での日課、イベントなど知ることができました。「１人ひとりと視線を合わせること、園児以上に自分が楽しむことで園児に伝わるものがある」とお話してくださり、今後、生徒が現場で実習等の体験を行う心構えを学ぶ、とても貴重な機会になりました。成長する園児の動画を見ながら、自分や親のことを思い出し、感動する生徒もいました。最後に、園児１９名からの手作りの素敵なプレゼントとメッセージをいただきました。

いばらきのケア　木村　亮　先生

※インターンシップ中止のため、現場を知る機会としてご理解、ご協力いただきました

木村先生は、最初にマジックを披露してくださり「現場で働く際には自分の強みを１つ持っていると良い」と生徒と対話しながら距離感を縮めてくださりました。「どのようにしたら障害の有無に関係なくみんなが自分らしく平等に生活できるか」というテーマで「もし自分が少数派だったら」という視点でブレインストーミングを行い、自分のアイディアをグループや全体で共有しました。「周りとの関わり方を変える」という視点を重視して話し合った経験は、これから活かすことのできるとても貴重な学びになりました。

昨年度に引き続き、常陸太田市の「まちづくり出前講座」で、子ども、障害、高齢の各分野で実際に手続きや相談業務に携わる市役所の職員さんから、各分野で関わる制度、市独自の制度についてご説明いただきました。

１２月９日（木）３ｈ　「保育園ってどんなところ？」「いろいろあります、子育て支援」

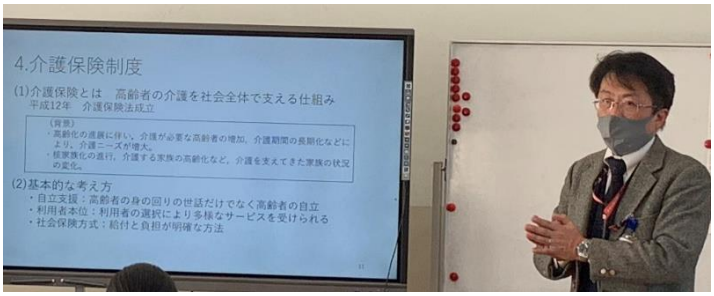
常陸太田市役所　子ども福祉課　子ども家庭係　／　子育て世代包括支援センター ここきらら

１２月１６日（木）３ｈ　「障害者福祉サービスのあれこれ」

常陸太田市役所　社会福祉課　障害福祉係

１２月２３日（木）３ｈ　「高齢者福祉サービスのあれこれ」「介護保険制度について」

常陸太田市役所　高齢福祉課　介護保険係

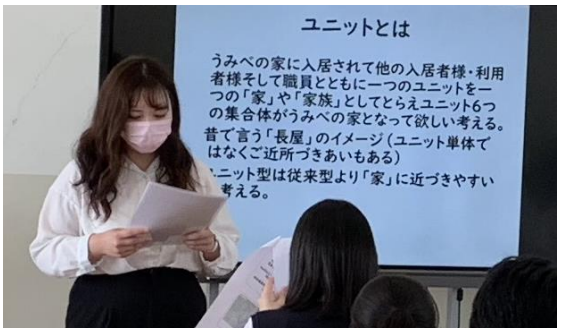


「介護福祉基礎」の授業では、高齢分野の現場の理解や将来の進路選択の参考にすること、「介護技術」の体験を目的に、関係機関にご理解、ご協力いただき、たくさんの外部講師の先生方にご指導いただきました。

６月２２日（火）４ｈ

特別養護老人ホーム　うみべの家　福本　麗菜先生（介護職員）

※茨城県社会福祉協議会より紹介（ふくし“きらり人”）



同施設では「自分の家、いい時間」の理念のもと、家と同じように過ごしてほしい思いで、利用者の方やご家族と関わり、行事や地域貢献にも携わっていることを学びました。特に、教科書上でも学ぶ「ユニットケア」について、同施設では「利用者様、職員とともに一つのユニットを一つの家や家族としてとらえ、ユニット６つの集合体がうみべの家になってほしい」との考えを大切にされていることを学びました。高校卒業後、介護職員として働いている福本先生からのお話や在学中に行っておいた方が良いアドバイスを聞くことができ、今後の進路を考えていくうえでとても貴重な機会になりました。

７月６日（火）４ｈ

特別養護老人ホーム　サン豊浦　村田　純先生（看護師、機能訓練指導員／介護福祉士）

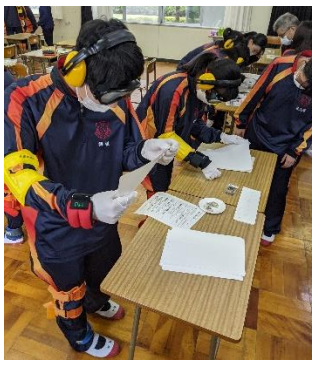
※茨城県社会福祉協議会より紹介（ふくし“きらり人”）

村田先生は、同施設の雰囲気が分かるような動画を準備してくださり、職場体験等の実施が難しいなかで現場を知る貴重な機会になりました。村田先生が介護福祉士から看護師を目指したきっかけやエピソードを聞くことができ、現場で働く職員の方の思いにふれる大事な時間になりました。特に、介護を学んだ上で、看護師を目指すメリットとして「介護と看護の両方の立場や意見が理解でき、双方の架橋になれる」「責任感は増えたが、幅広い視野で考えられるようになった」とのお話は、今後の進路選択に大変参考になるお話でした。

昨年度に引き続き、常陸太田市社会福祉協議会の職員の方や福祉体験ボランティア「あゆみの会」のボランティアの方にご協力いただき、体験を通して介護やコミュニケーションの知識、技術を学びました。

講座では、介護を必要とする方の立場での体験を組み立ててくださりました。

１０月１９日（火）４ｈ　高齢者疑似体験



１０月２６日（火）４ｈ　アイマスク体験

１月２５日（火）４ｈ　車いす体験

１１月２、９、１６日、１２月１４、２１日（火）４ｈ

社会福祉法人　西山苑　篠田　聡先生（介護支援専門員（ケアマネージャー）／介護福祉士）

計５回（体位交換／移動・移乗介助／着脱介助／排泄介助／食事介助）にわたり、介護技術を中心に、ご指導いただきました。講座では、生徒と対話しながら、利用者の方の心身の状況に応じた支援や具体的な現場での対応方法を分かりやすく丁寧にご指導いただきました。さらに、介護現場でのご経験を話してくださり、今後の生徒の進路を考えていくうえでとても貴重な機会になりました。篠田先生から学ぶこと通し、学ぶ楽しさを見出すことができ、今後の学習やモチベーションに繋がるとても貴重な機会になりました。

「コミュニケーション技術」の授業では、年齢や病気、障害を理解した上でコミュニケーションを行う方法を学ぶことを目的に、関係機関にご理解、ご協力いただき、たくさんの外部講師の先生方にご指導いただきました。

１１月１０日（水）２ｈ　「上手な読み聞かせ手法講座」　※常陸太田市「まちづくり出前講座」

常陸太田市　教育委員会　図書館　司書　川﨑　訓子先生

１１月１７日（水）２ｈ　「手話体験」

手話サークル　もみじの手　※常陸太田市社会福祉協議会からの紹介

１１月１７日（水）３ｈ　「点字体験」

点訳ボランティア　ぶどうの木　※常陸太田市社会福祉協議会からの紹介

１２月１５日（水）２・３ｈ　「認知症サポーター養成講座」

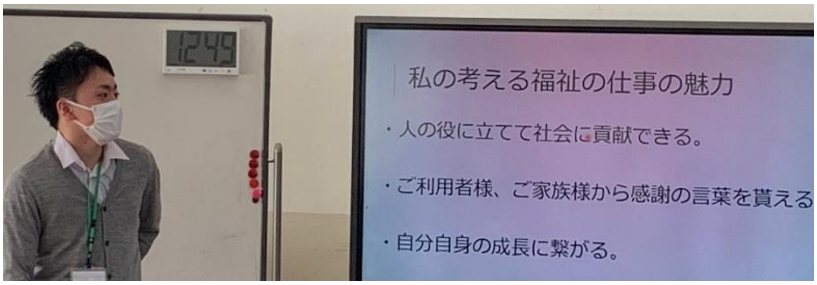
常陸太田市認知症サポーター　キャラバンメイト　山口　誠子先生

※常陸太田市社会福祉協議会からの紹介

１月１２日（水）２ｈ

特別養護老人ホーム　成華園　吉田　昌平先生（介護副主任兼生活相談員）

※茨城県社会福祉協議会より紹介（ふくし“きらり人”）



福祉の仕事の魅力として、支援対象者の悩みを解決するなど、人の役に立てて社会に貢献できることや、利用者の方やご家族から感謝の言葉を貰えること、難易度が高い支援内容を自分自身の知識や技術、経験を基に達成できたときに自分自身の成長に繋がるというお話をしてくださりました。現場で実際に行われた行事の写真をご紹介いただき「利用者様が喜ぶには」を職員が考え、工夫して実践されていることを学ぶことができました。介護と保育を両方学ぶということは「人と関わり、向き合う」という共通点があること、仕事上でも仕事以外でも役立つ場面が出てくることを再認識する機会になりました。

また、「コミュニケーション技術」の授業では、特別養護老人ホーム 成華園の額賀悠介先生（社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員）にご指導いただきました。

福祉保育コースの取り組みに、ご理解、ご協力してくださる関係機関やたくさんの外部講師の先生方のおかげで、貴重な学び、経験をすることができました。

関係機関の皆様、ご理解、ご協力ありがとうございました。

講師の先生方、ご指導、ありがとうございました。